

グループワークのまとめ

G

- ・訪看と話をして、実際、訪看から Dr に話をしてもらったケースが今まで多かったので、今回の研修で反省した。
- ・まずは Dr に意見を求めるが、その時に、利用する訪看に空き状況を聞いてからの方がいいのか、病院とつながりのある訪看があることがあるので、まずは、先生から聞いてからの方がいいのか、いつも迷うし悩む。
- ・昔よりもだいぶ新しい訪看（事業所）が増えたと思う。内容、実力度、質がわからないので、先生から選んでもらう方がいいのかな?と思いながら、実際は、同じ事業所内で情報交換をしている。
- ・気づきのできるスタッフ、特指示に切り替わるときに連絡・連携の取れる、相談・報告とか、しっかりされている事業所がいいと思うので、そういう所を選んで勧めたい。
- ・Dr が訪看の理解がない、慣れていないことがあって困った。
- ・Dr に勧められて利用した訪看の事業所が、家族さんと合わず、変更を Dr にお願いしたことがある。
- ・相談員さん通しての主治医の連携はやりにくい。相談員さんから、それでは訪看は利用できないと言われて困ってしまったことがある。
- ・前もって、Dr と連携をとっていきたい。

G

- ・家族に直接 Dr に聞いていただくことが多い。
- ・Dr がケアマネに「何で君たちに言われるんだ」と言われることがある。
- ・書面だと伝わりにくかったり、時間がかかったりするのではないかな。
- ・訪問看護の必要性が Dr に伝わらず、導入できないときがあった。
- ・Dr によってはステーションを指定されることがあり、「このケースだとこのステーションにお願いしたいな」と思っても、思うようにいかないことがある。
- ・ステーションを任せてくれる Dr が大半の印象。
- ・東海中央病院さんより、入院中の患者さんについては、MSW よりクリニックに訪問看護の導入及びステーションの確認をしている。

* 東海中央病院さんよりケアマネに質問

どのようなタイミングで訪問看護を提案されるか？

- ・デイサービスの利用を勧めても行けず、訪問看護を導入した。
- ・医療保険対象の福祉医療費受給者証のある方。
- ・医師からの勧め。
- ・ヘルパーさんと訪問看護の違いに悩むが、「指導」の目的で勧める。

G

- ・Dr から指示をもらっている。
- ・細かく伝えなくてはいけないことがわかった。
- ・具体的なリハビリ内容を記載する必要がわかった。
- ・大きい病院は時間がかかるが、早く対応できるようにしてほしい。
- ・それぞれの Dr のやり方が違うので、合わせていく。
- ・Dr の勧めで導入するほか、訪問診療時に同行して相談している。書面でまとめるのは難しいので、工夫する。
- ・訪問診療時に新しく入る場合、家族・本人は「早くしてほしい」と意向があっても、連携が取れず、導入に遅れが出た場合がある。
- ・導入する上で、指定の訪看の事業所を把握してなかったので、把握してから家族（本人）に説明するとスムーズに運ぶ。
- ・初めて利用する事業所との連携が取れず、困ったことがあった。
- ・リハビリで入ってもらっている訪看に、インシュリンの自己注射が打てなくなり、訪看でお願いしようとしたら、ステーションの方から「先生の指示書は後からもらえばいいよ」と言われたことがあった。（お断りした）
- ・コロナ前は、通院に付き添ったり、訪問診療時に伺いやり取りした。コロナ後は、書面となったが、面談の方が、詳しく伝えられる。
- ・施設は主治医が決まっているが、話す機会がないので、主治医連絡票を送ったら、「訪問するのだから、そこで言いなさい」と叱られ、コミュニケーションがとりづらかった。
- ・（リハビリの導入について）

本人・家族の意向、DS や DK に行きたくない人に導入

G

- ・訪問看護依頼について
- 週何回、何分まで話をしていない。歩行訓練程度の話をしている。

今回の研修で訪看へつなげられるといいかなあ。

・訪問看護指示書を申請して、どのくらいからサービスを受けられるのか。

主治医の先生によるのでは。クリニックは早く書いていただける。

急性期の病院は時間がかかる。主治医の先生が変更になったり、以前にお願いしているのに、書いてもらえなかった。

・本人や家族から訪問看護の事業所を変えてほしいと話が出た。本人や家族と訪問看護さんが合わない。先生に相談。

・訪問看護をやめる時はケアマネが家族と本人の意向を確認し、主治医に相談、家族へ報告。

・介護保険から医療保険に切り替わり（先生の意向で）、負担額が増え、家族は不満だった。しっかりと説明が必要。

・定期巡回の利用と医療の訪看を主治医の指示で導入したが、料金がかかりかかってしまった。

G

・訪問看護導入については主治医により必要性があると認めてもらうことが必要である。そのためにはケアマネとして、利用者さんの状態や生活の場での様子等、細かな情報提供が必要である。

・訪問看護の頻度や回数についても、ケアマネから主治医へて人ができることが初めてわかった。

・訪問看護さんにも今日の内容を理解してもらった方がいいと思う。

・東海中央病院さんより、訪問看護導入の際だけでなく、福祉用具の軽度者申請や主治医意見書の依頼、外来受診の際のケアマネ同席などについても、事前に連絡を入れておくことでスムーズに対応していただけることがわかった。

G

・訪問看護を東海中央病院経由で依頼したことがなかったので、今回本当に役に立った。今後の参考にしていきたい。

・訪問看護サービスについては、主治医の先生が主体だと思っていた。なかなかケアマネから言い出せず、訪問看護の依頼は家族に任せていた。

・現在、訪問看護サービスは大変お世話になっている。導入の部分は主に家族に動いてもらっていたが、ケアマネとしてもできることがわかり、大変勉強になった。訪問看護の必要性のほかに、具体的に回数やサービス内容も記載した方が良くと学んだので、もう1度自分の業務を見直していきたい。

・精神の訪問看護の利用者がいる。精神の訪問看護のサービス内容や利用方法などの情報があると、今後の支援に役立てられると思う。

* 東海中央病院さんよりケアマネに質問

① ヘルパーさんと訪問看護サービスについてどうすみわけていますか。

・自分の体にすごく関心のある人がいた。入浴サービスに関してヘルパーさんでもいいかと思ったが、持病の事の相談や精神的なフォローの必要もあり、訪問看護サービスによる入浴サービスをお願いすることとなった。

・本人の不安が強く、自分の身体をみてほしいと依頼はあり、先生と相談して訪問看護サービスを利用されている人がいる。

・ご本人の意向と利用料金の事も説明の上、身体状況をみながら、訪問介護で入浴とそのご訪問看護で傷の処置などを組み合わせている利用者さんがいる。自分も同じような利用をしているので、この場で確認ができて良かった。

② 訪問看護サービスを利用する上で、よかったこと、お願いしたいことがあれば教えてほしい

・心疾患のある人が、救急車を頻繁に呼ぶので訪問看護を利用することで抑制できないか、という相談があったが、救急車を呼ぶときは訪問看護の緊急訪問も待てずに依頼するので、訪問看護を入れることでの抑制は難しい、と導入を見送られたことがあった。

・利用者がどこを求めているのか、内服管理なのか、むくみの解消なのか、等の意向をきちんと把握していくことが大切だというお話を聞くことができました。